



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2012～2013年度 RI会長 田中 作次
RIテーマ Peace Through Service 奉仕を通じて平和を

クラブテーマ「チ・カラを出そう」会長 太田政人

副会長 山本良一 幹事 石井司人

第1111回 例会 2011.10.19(金)晴

司会:久保栄子君 指揮:石井和郎君
ロータリーソング「日も風も星も」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 太田政人君



先週の13日の土曜日、静岡のグランシップにて地区職業奉仕セミナーが開催されました、職業奉仕委員長の宮澤さん、クラブ研修リーダーの中村さんと私の3人で出席してきました。セミナーは二部構成で第一部

は『皆働社会への提言』～知的障害者に導かれた企業経営から～と題しチョークメーカーの日本理化学工業(株)の会長の大山泰弘氏が講演されました。日本理化学工業の従業員は総勢74名のうち知的障害者は55名、またそのうち26名が重度の障害者ですが、チョークのシェアは32パーセントの国内トップメーカーです。大山会長は障害者雇用に至った経緯、職業研修、知的障害者の7割を成功させた企業経営方針をご自身の哲学を踏まえ淡々とした口調で講演されました。講演内容で特に印象に残ったことは障害者にとって施設に入れ世話をされるより「人に必要とされ、人の役に立つこと」がなによりも喜びであり幸せである、人の幸せのために一生懸命頑張れば、ブーメランのようにその幸せは自分に戻ってくる、会社には多方面から力を貸して頂けるようになり新製品の開発に繋がり業績も上がっているとのことでした。

セミナー第二部は国際ロータリー理事の松宮剛氏の『ロータリーの職業奉仕』の講演で「手続要覧」と「ロータリーの綱領」に記されている奉仕の理想としての職業奉仕についてお話されました。このセミナーで学びました、職業奉仕とは大山会長がおっしゃいました「人に必要とされ、人の役に立つこと」をすることであると。

詳しくは第一部、第二部講演ともに後日ガバナ一月信に掲載されますのでご精読ください。

話は変わりますが東日本大震災復興支援委員会に対しての補助金額が26万円に決定しましたと地区ロータリー財団の補助金小委員会の鈴木委員長さんよりメールが届き

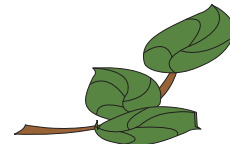
ました、当初は27万円の予定でしたが為替レート等の理由で1万円の減額になってしまいました。

以上、報告で会長挨拶いたします。

出 | 席 | 報 | 告 |

| | 出席総数 | 出席率 | メイクアップ | 修正出席率 |
|-----|-----------------|--------|--------|--------|
| 前々回 | 26/35 | 74.29% | 29/35 | 82.86% |
| 今回 | 30/35 | 85.71% | 会員総数 | 36名 |
| 欠席者 | あなたが見えなくて残念でした。 | | | |

内田君、兼子君、田中君、山本(章)君、山本(良)君



おめでとろ

入会記念日 10月5日 鈴木政則君



今日の料理

へー… ナルホド…… みんなしているかな……思わずうなずいてしまうような服にまつわる知識・情報・その他アレコレ。面白いと思った方は心にとめてください。これは……と思った方は誰かに教えて自慢してください。もっとも……と思われた方はどうか図書館へ……何はともあれ、制服のことを頭のシミにおきつつ、楽しく服について考察してみよう

Blazer

スクールユニホームとして人気抜群!! プレザ―とは?? 中学・高校の制服として男女を問わず人気の高いプレザ―の言語・由来は様々な説があります。

☆その1

1890年頃、英国の名門ケンブリッジ大学とオックスフォードのレガッタがテムズ川で行われた時、ケンブリッジのボート部員が全員真紅のスポーツジャケットを着て応援に参加した。その赤がテムズ川に映えて、それはあたかも炎がゆらぐようであったという。対岸の人々は口を揃えて「BLAZE (炎)」のようだと賞賛した。それ以来この赤いジャケットを着た男たちのことを「BLAZER(プレイザー)」と呼ぶようになり、それが転じて単に単にジャケットの事をプレザ―と言うようになった。

☆その2

英国で出版された[FASHION HISTORY]によれば、プレザ―の言語は軍艦の名前ということである。英国の名誉ある女王陛下のプレイザー号の艦長は、かねてよりだらしない身なりの船員にきちんとした服装をさせたいと願っていた。その結果メタルボタンのついた紺サージのジャケットを全員に着せた。そしてこのジャケットに船の名前がつき、プレザ―と呼ばれるようになった。

☆その3

派手な色のスポーツジャケットで、スポーツクラブのメンバーが着用するもの。後に学園でも着られるようになり、60年代には男女を問わずすべての年齢の人達によって着られるようになった。説は様々ですが、共通するのは個人でなく複数の人達がお揃いで着用したジャケットという事。さらに金属のボタンを使用するという事も共通しています。

その他

- ・素材はフラノ・サキソニー・薄手のメルトンがよい……
- ・色は紺が本スジ。他にはグレー・キャメル・グリーンもよい……
- ・肩はナチュラルショルダーがよい。(パットなし、又は薄め)……
- ・プレザ―はスポーツウェアではない。着こなし方によってドレスリーにもスポーティーにもなる代物である……
- ・数ある服の中でユニセックスの装いができるのはプレザ―とダブルコートである。

などなど、こだわりの意見は百出します。いずれにしても考え方や組合せ方によって着る楽しさや深さが増してくるのがプレザ―と言えそうで、このあたりがオシャレなコーティネイトに敏感な中・高生に受けるゆえんかもしれません。

学ランの「ラン」はオランダの意味

日本独特の詰襟学生服のことを俗語で「学ラン」というが、これはどこからその名がついたものか?……調べてみると、かつて舶来生地のことを「ランダ」と呼んだ時代があり、それはオランダから渡って来た生地ということで「ランダ」となり、さらに短くして「ラン」。これを学生服に結び付けて「学ラン」という言葉が発生したのだ。徳川幕府が鎖国制度をしいて、外国との窓口を長崎の出島のオランダ屋敷のみとしたのは1641(寛永18)年からのことだから、「ランダ」という言葉はもおそらくはそれ以降に生まれたものとおもわれる。それまでの外来語

はほとんどがポルトガルとスペインからもたらされたもので、たとえばウールの生地を「羅紗(らしや)」という言葉は、ポルトガル語のRAXAからきたものだし、「合羽(かっぱ)」はスペイン語のCAPA(かば)からきている。英語が主となるのは幕末から明治にかけてのことでそれまで日本人にとっての外国語とはオランダ語のことに他ならなかったのだ。

IDENTITY

アイデンティティっていったい何……?

最近の制服モデルチェンジで、必ずと言ってよいほど話題になるものにSI(スクールアイデンティティ)構想があります。学校の理念、方針とからめて理解されている場合もあれば、単に「個性の表現」～らしさ」のように視覚的にとらえられている場合もあります。分かるようで、今一つ分かりにくいアイデンティティという語句について辞書では、Identity(n)：同一であること・同一人格性、本人であることの証し。身元となっていますが、これを読んでますます分かりにくいと感じてしまう理由は、アイデンティティとは非常に巾の広い、そして深い意味あいを多く含んだ語句だからといえます。

考え ⇄ 行動

言動 ⇄ 実行

印象 ⇄ 本質

外観 ⇄ 内的思考

などと、一見相反する要素が一本の線で結ばれ、その上に一個人(又は集団)の本来のありようが像を結ぶといった感じでしょうか。中・高のSIのみならず、大学ではUI、企業ではCIを一種の「時代の記号」のように探求し始めていますが、この背景には狭い環境のカラを破り、広い国際社会の中で個人や集団としての立脚点を見つめ直し、さらに社会に対してどんなかわりを持ち何を還元すべきかという巾広い考え方を重視しはじめたことが底流にあると思われます。多くの要素が実はしっかりと概念のもとで一つに成り立っているアイデンティティの意味を理解することは、「あいまいさを一種の美德」として感じてしまう日本人には少々手ごわいかもしれません。いずれにしても個人、集団を問わずアイデンティティとは一朝一夕に確立するものでないことは確かです。制服企画でSIを語る時、単なるテーマとして掲げたり、表層のみをとらえることのないように気をつけたいと深く考えます。

だいぶ前になります朝日新聞のニュースから

京都のある公立高校で制服が一部導入されることになり、それに反発した生徒たち数十人が、一学期の終業式に浴衣姿で登校した。浴衣での参列を制した先生に対し、彼らは「卒業式では袴(はかま)や振袖が認められているのに」と反論した。すると先生は「浴衣は昔は肌着だったので、公式の場にはふさわしくない」と説得したという。ふつうこの種のトラブルだと、個人の自由が集団の規律がといった堅苦しい枠組。ここでは、たかが服、されど服という呼吸が両者の間で共有されている。生徒たちは抗議という形式ではなく、浴衣という意表をつく姿で学校のきまりを揺さぶったのだし、先生は肌着で人前に出ることがいかに令を失したことを論そうとした。どちらも、個人の表現といったしゃちほこばった視点からではなく、他者のまなざしに自分の姿がどのように映るかという観点から服装を問題にしたのだ。おしゃれは他人の視線をデコレートするものだ、という考え方がすてきだ。夏にはお坊さんやご婦人方が白い生地の上に重ね着をしている縹(ろ)や紗(しゃ)の、あの黒く透けた着物が、何よりもそれを見る人の目を涼ませてくれる。学校での制服といえば、先生のジャージー姿が問題になったこともある。教員側は、当局による管理の強化だと反発した。だが、あの安楽な格好は、生徒を傷つけているものではないか。僕らの存在はこの程度にしか扱われていないのか、と。制服



スマイルボックス

について議論する時は、お互いのまなざしへのそうしたこまやかな配慮が必要なのである。

制服を美しく維持するためのカンタン手入れ法
シャワーにシャンプー、マウスウオッシュにブラッシング・・・
デオドラント商品にサプリメント食品に興味津々———
現代人の清潔、健康志向には驚くべきパワーがあります。
高校生にファッションのポイントは・・・? とアンケートすると個人的、機能的に続いて[清潔さ]が堂々3位。
さて毎日お世話になる制服にもその清潔パワーを発揮してほしいものです。

面倒なことはプロのランドリーにまかせることにして、本日は、誰にでも出来るカンタン手入れ法ベスト10をご提案いたします。

■その1、 制服は脱いだらすぐにハンガーがけして風を通す。スラックスは裾からつると、ベルトの部分の重さで全体が伸びて小ジワがとれます。プレスラインも長もちします。

■その2、 4~5回はたいてホコリをおとす。風の強い日はなおさら。これで花粉症の人にはかなり効果あり。ブラシかけならベスト。

■その3、 雨雪にぬれたら翌日までに必ず乾かす。エアコンのそばでもOK。ぬれたままではニオイの発生につながります。

■その4、 飲み物のシミはまず水でぬらして、ハンカチでたたいて落とす。

■その5、 ドロはねは必ず乾いてからもみ落とす。よくたたく。

■その6 ほこりや糸くずはセロテープやガムテープを手に巻いて取る。

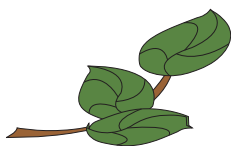
■その7、 縫い目のほつれやカギ裂きはその日のうちに修理。小さなほつれが3日後には・・・?

■その8、 席に着く時はスカートやスラックスを少し整えてから・・・ ブリーツの乱れもこれでずいぶん防げます。立ち振る舞いも美しいというオマケもつきます。

■その9、 ここまでくれば日々のメンテナンスはほぼ完璧。気合を入れてアイロンがけする時は必ず当て布をしてください。直接アイロンをかけるとゴゲたりテカったりで危険!!

■その10、 少なくとも学期末には(季節の変わり目)クリーニングに出して下さい。翌日仕上げも可能なので、手ごわい汚れは即プロの手へ。

忘れてはならないのは手入れの前にポケットの中身はすべて出してしまおう事。汚れたハンカチ、カードにパス入れ、ジャラジャラしたキーもすべて出してからいざメンテナンス!!!!なーんだ、カンタン、皆さんが知っている10項目でした。日々気をつけて清潔に制服を着てください。



- 西原克甫君:本日卓話です。宜しくお願いいたします。
- 渡辺照芳君:兵藤君、大歓迎いたします。
- 杉山 隆君:中村先生、先日は奥様のコンサートおめでとうございます。出張の為、私はお聴きできませんでしたがスタッフの田原は感動して帰ってきました。又、ぜひ聴かせていただきたいです。
- 石井邦夫君:昨日、中村先生の奥様、中村美里声楽リサイタルに招待してくださいまして本当にありがとうございます。歌姫、声も姿も超一流でした。
- 中山和雄君:本日居住地(萩団地)内の下水管を三島市下水道管に接続の準備委員会のため早退いたします。兵藤君楽しんでください。
- 中村 徹君:昨日はお足元の悪い中、家内のリサイタルにお出かけ頂きましてありがとうございました。皆様の友情に感謝します。
- 田中錦城君:Cテーブル会お疲れ様でした。楽しいひと時を過ごせました。
- 兵藤弘昭君:本日は、歓迎会の宴を催していただき心より感謝申し上げます。せせらぎ三島ロータリークラブの皆様のおかげで心遣いに対しましてスマイルします。

